

令和6年能登半島地震活動概要(のべ職員694人日・協力業者738人日派遣)

R6.1.14_17時時点

○令和6年1月7日(日)～14日(日)までのTEC-FORCE活動



先遣調査班による他地整との会議



電源支援班による照明車から避難所への電源供給



道路班による七尾市における被害状況調査



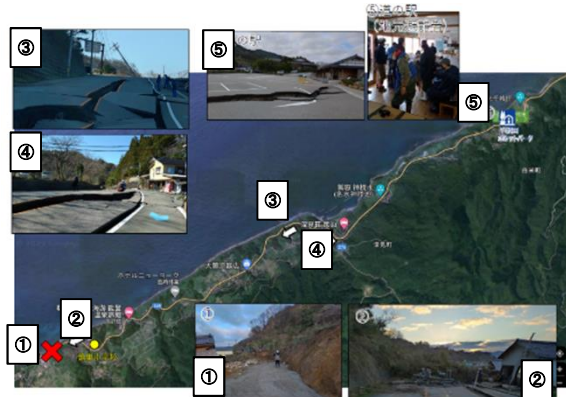
港湾班による滝港(羽咋市)における被害状況調査



水道支援班による七尾市での取材対応



市町道調査班による他地整との会議



道路調査班による輪島市内R249被害状況調査(民間ヘリにて移動)



建築班による珠洲市における危険度判定調査



砂防班による輪島市におけるドローンを用いた被害状況調査



応急対策班(待機支援車)をのと里山空港に配備



珠洲市における照明車支援



給水支援班による氷見市における給水支援活動



ローリーによる能登空港における待機支援車への燃料補給

令和6年能登半島地震 TEC派遣状況 1月14日

○1月14日は、52人のTEC-FORCE隊員で活動。（延べ694人・日）

応急対策班（給水支援）：石川県

期間：1月3日（水）～
職員：実人数1人（延べ19人・日）第2陣
班構成：名国+新丸+浜松
派遣車両：散水車（6300L給水装置付き）2台
新丸山：かほく市 浜松：休憩

応急対策班（照明支援）：北陸地整

期間：1月4日（木）～
職員：実人数3人（延べ28人・日）第2陣
班構成：施工企画課 派遣機械：照明車5台
（輪島市1台、珠洲市1台、能登町1台 待機2台）

応急対策班（水道支援）：北陸地整

期間：1月8日（月）～
職員：実人数2人（延べ14人・日）
班構成：本局 活動内容：七尾市

市町道路とりまとめ連絡班

期間：1月6日（土）～
職員：実人数3人（延べ27人・日）第2陣
班構成：本局 活動内容：市町が管理する道路
（生活道路）の被害状況を把握。

先遣（総括）班：北陸地方整備局

期間：1月1日（月）～
職員：実人数4人（延べ56人・日）第2陣
班構成：先遣班（本局）
活動内容：情報収集

被災状況調査班：砂防班 92ヶ所/121ヶ所

期間：1月2日（火）～
職員：実人数16人（延べ236人・日）第2陣
班構成：河川部・静河・庄内川・木曾川上流
活動内容：被災状況調査 内業

被災状況調査班：道路班 257ヶ所/257ヶ所

期間：1月2日（火）～
職員：実人数20人（延べ260人・日）第2陣
班構成：飯田・静岡・浜松・紀勢・名国
活動内容：被災状況調査 内業 第3陣は珠洲市

被災状況調査班：建築班：石川県

期間：1月9日（火）～
職員：実人数3人（延べ18人・日）第2陣
班構成：本局 第2陣 珠洲市

被災状況調査班 建築班
七尾市珠洲市

①金沢河川国道事務所



災害対策本部情報
令和6年1月14日 17時00分現在
国土交通省中部地方整備局

令和6年能登半島地震 災害対策本部情報(第18報)

※本情報は、速報値のため、今後数値等を修正する可能性があります。

1. 1月14日のTEC活動報告【総合対策班】 ※____下線は新規派遣

①TEC活動（職員52名・のべ694人日、協力業者52名・のべ738人日）

- 先遣班 1班 職員 4名（のべ 56人日）、協力業者 2名（のべ18人日）
活動場所：新潟市内（北陸地方整備局）
第3陣を派遣し、第2陣は帰還
- 砂防班 4班 職員16名（のべ236人日）協力業者 6名（のべ101人日）
活動報告：輪島市にて現地調査及び石川県庁にて内業実施
- 道路班 5班 職員20名（のべ260人日）、協力業者 5名（のべ70人日）
活動報告：石川県青少年総合研修センターにて内業実施
- 市町道路支援班 1班 職員 3名（のべ27人日）、協力業者 0名（のべ9人日）
活動報告：石川県青少年総合研修センターにて内業実施
- 応急対策班（給水支援） 2班 職員 1名（のべ19人日）協力業者 9名（のべ89人日）
活動報告：（浜松班）能登町内で給水支援実施 第2陣 職員1名帰還
（名国班）氷見市内で給水支援実施
- 応急対策班（照明支援） 1班 職員 3名（のべ28人日）協力業者18名（のべ242人日）
活動報告：輪島市（2台）、珠洲市（1台）にて稼働（2台待機）
- 応急対策班（待機支援車） 1班 協力業者4名（のべ33人日）
活動報告：能登空港にて待機
- 燃料補給班（タンクローリー） 2班 協力業者 5名（のべ41人日）
活動報告：（木曾下班）能登空港にて、給油活動
（天上班） 輪島市にて、給油活動
- 水道支援班 1班 職員 2名（のべ14人日）協力業者 2名（のべ8人日）
活動報告：日水協本部、石川県、七尾市役所、名古屋市、と打合せ
第2陣を派遣し、第1陣は帰還
- 建築班 1班 職員 3名（のべ18人日）、協力業者 1名（のべ6人日）
活動報告：能登町で現地調査

②本局要員（職員20名・のべ345人日）

本部 9名（のべ228人日）、建政部 1名（のべ 11人日）、河川部 1名（のべ28人日）、
道路部 1名（のべ 13人日）、港湾空港部 3名（のべ38人日）、営繕部 5名（のべ47人日）

2. 1月13日のTEC活動予定【総合対策班】

明日のTEC活動予定(職員51名・のべ745人日、協力業者70名・のべ808人日)

- 先遣班 1班 職員 4名 (のべ 60人日)、協力業者 2名 (のべ20人日)
活動場所：新潟市内(北陸地方整備局)
- 砂防班 4班 職員16名 (のべ252人日) 協力業者 12名 (のべ123人日)
活動報告：石川県青少年総合研修センターにて内業実施予定
第3陣(企画部河川部、天上・三峰総、新丸)を派遣し、**第2陣(河川部、静河、木曾上)は帰還予定**
- 道路班 5班 職員20名 (のべ280人日)、協力業者 10名 (のべ80人日)
活動報告：石川県青少年総合研修センターにて内業実施予定
10:30手交式(七尾市役所) 予定
第3陣(道路部、愛国、名四、三重、北勢)を派遣し、第2陣(飯田、静国、浜松、紀勢、名国)は帰還予定
- 市町道路支援班 1班 職員 3名 (のべ30人日)、協力業者 0名 (のべ9人日)
活動報告：石川県青少年総合研修センターにて内業実施
- 応急対策班(給水支援) 2班 職員 0名 (のべ19人日) 協力業者 6名 (のべ95人日)
活動報告：(浜松班) 能登町内で給水支援実施
(名国班) 氷見市内で給水支援実施
- 応急対策班(照明支援) 1班 職員 3名 (のべ31人日) 協力業者27名 (のべ269人日)
活動報告：輪島市(2台)、珠洲市(1台)にて稼働(2台待機)
第3陣(木曾下、企画部、総務部 3名)を派遣し、**第2陣(新丸、企画部、建政部3名)は帰還予定**
- 応急対策班(待機支援車) 1班 協力業者6名 (のべ39人日)
活動報告：能登空港にて待機
- 燃料補給班(タンクローリー) 2班 協力業者 5名 (のべ46人日)
活動報告：(木曾下班) 能登空港にて、給油活動
(天上班) 輪島市にて、給油活動
- 水道支援班 1班 職員 2名 (のべ16人日) 協力業者 1名 (のべ9人日)
活動報告：七尾市役所にて内業実施予定
- 建築班 1班 職員 3名 (のべ21人日)、協力業者 1名 (のべ7人日)
活動報告：能登町で現地調査

3. 地震概要(気象庁発表)【総合対策班】

①発生日時:令和6年1月1日(月) 16時10分頃

②震源及び規模:石川県能登地方(深さ:16キロ) マグニチュード7.6 最大震度7
最大震度5弱以上の地震の回数は15回発生。

○各地の震度

・震度5弱 高山市、飛騨市

・震度4 名古屋市、半田市、春日井市、津島市、刈谷市、豊田市、西尾市、知立市、高浜市、日進市、愛西市、清須市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、大治町、蟹江町、飛鳥村、美浜町、桑名市、木曾岬町、袋井市、下呂市、白川村、中津川市、大垣市、瑞穂市、郡上市、海津市、輪之内町、諏訪市、茅野市、木曾町

4. 防災体制【総合対策班】

【応援対策本部】

他地整支援 注意体制 1月1日 16時10分 発令

警戒体制 1月1日 23時30分 発令

1日: 14名	2日: 25名	3日: 19名	4日: 15名	5日: 17名
6日: 10名	7日: 14名	8日: 16名	9日: 19名	10日: 19名
11日: 16名	12日: 19名	13日: 9名	14日: 18名	

(14日17時時点)

【応援対策支部】

警戒体制:港湾空港部、浜松河川国道、中部技術

注意体制:建政部、河川部、道路部、営繕部、木曾上、高山、沼津、静岡、静岡、庄内川、豊橋、名国、名四、三重、木曾下流、紀勢、天竜川上流、

5. 地方公共団体等への支援・連携状況【総合対策班、建設機械班】

①TEC—FORCE 派遣人数

1日: 4名	2日: 40名	3日: 50名	4日: 51名	5日: 56名
6日: 56名	7日: 52名	8日: 56名	9日: 59名	10日: 56名
11日: 51名	12日: 54名	13日: 52名	14日: 52名	

(14日17時時点)

② TEC—FORCE 派遣状況 健康状態:全員良好(1/14 宿出発時)

【先遣班】:1班(本局4名) 北陸地整にて活動

第1陣 活動期間(R6.01.01~R6.01.08)帰還済

第2陣 活動期間(R6.01.08~R6.01.14)

第3陣 活動期間(R6.01.14~R6.01.20)

【砂防班】:4班(河川部4名、静河4名、庄内川4名、木曾上4名)

- R6.01.02 出発(河川部、天上、富士、沼津)
- R6.01.03 出発(多治見)
- R6.01.03 石川県庁・金沢河川国道にて翌日以降の調査箇所について打合せ
- R6.01.04 石川県輪島市内の調査対象箇所173のうち、7箇所を調査
- R6.01.05 金沢河川国道事務所内にて内業実施
出発(越美)
※多治見班1名発熱(39.2℃)により病院受診予定、全員ホテル待機
多治見班に代わり、越美班を1/5に派遣、交代
- R6.01.06 石川県輪島市内の調査対象箇所173のうち、45箇所を調査
帰還(多治見)
- R6.01.07 石川県輪島市内の調査対象箇所173のうち、53箇所を調査
- R6.01.08 石川県輪島市内の調査対象箇所121のうち、69箇所を調査
- R6.01.09 第2陣(3班)を派遣し、引き継ぎ後、第1陣(3班)は帰還
輪島市内を調査(1班)
- R6.01.10 金沢市内にて内業
- R6.01.11 輪島市内で現地調査(2班)、内業(2班)77箇所/121箇所完了
- R6.01.12 輪島市内の調査対象箇所121のうち、80箇所を調査
- R6.01.13 石川青少年総合研修センター(3班)及び石川県庁(1班)にて内業
- R6.01.14 輪島市内の調査対象箇所121のうち、90箇所を調査(3班)。
石川県庁にて内業(1班)

【道路班】:5班(飯田4名、静国4名、浜松4名、紀勢4名、名国4名)

- R6.01.02 出発(道路部、愛国、名四、三重、北勢)
- R6.01.03 石川県庁・中能登土木総合事務所にて翌日以降の調査箇所の打合せ
- R6.01.04 石川県志賀町・羽咋市・宝達志水町・七尾市・かほく市内の調査対象箇所
39箇所のうち、31箇所を調査
- R6.01.05 石川県志賀町・羽咋市・宝達志水町・七尾市・かほく市内の調査対象箇所
67箇所のうち、61箇所を調査
- R6.01.06 道路部、愛国、名四班 中能登総合土木事務所にて打合せ
三重、北勢班 石川県七尾市(能登島)の調査対象箇所
67箇所のうち、67箇所を調査
追加調査箇所について北陸地整・七尾市と打合せ
- R6.01.07 石川県七尾市の調査対象箇所82箇所のうち、74箇所を調査
※愛国班1名発熱(1/6 37.3℃)のため、1/7AMに病院受診(インフル
エンザ、コロナともに陰性)。他の班員はホテルにて内業実施。
- R6.01.08 石川県七尾市の調査対象箇所60箇所のうち、51箇所を調査
- R6.01.09 第2陣(5班)を派遣し、引き継ぎ後、第1陣(5班)は帰還
- R6.01.10 七尾市・金沢市内で内業
- R6.01.11 七尾市内で現地調査 進捗 144箇所/151箇所完了
- R6.01.12 七尾市内で現地調査 進捗 227箇所/227箇所完了
- R6.01.13 石川青少年総合研修センターにて内業実施
- R6.01.14 石川青少年総合研修センターにて内業実施

【市町道路支援班】:1班(道路部3名)

- R6.01.06 出発
金沢河川国道事務所にて市町村道の被害状況確認(R6.01.06~R6.01.07)
- R6.01.08 金沢河川国道事務所にて支援地整(近畿・関東)と現地調査打合せ
- R6.01.09 金沢河川国道事務所にて、本省と打ち合わせ後、内業実施
- R6.01.10~14 石川県青少年総合研修センターにて内業実施

【港湾班】:1班(港湾空港部2名)

- 第1陣 活動期間(R6.01.03~R6.01.06)帰還済
- 第2陣 活動期間(R6.01.08~R6.01.12)
- R6.01.08 金沢港湾・空港整備事務所に到着後、打合せ
- R6.01.09 港空研と合流し、七尾港(三室、鹿渡島地区)の被害状況調査
- R6.01.10 国土交通省港湾局職員と合流し、宇出津港の被害状況調査を実施
- R6.01.11 滝港の被害状況調査、関東地整との引継を実施
- R6.01.12 帰還済

【電源支援班】:6班(電業協会15名)

- R6.01.08 金沢市に移動
- R6.01.09 輪島市内の浦上公民館、劔地原子力防護施設、穴水町役場にて電源供給を実施
派遣者15名の内、8名帰還
- R6.01.10 輪島市港公民館、浦上公民館、劔地原子力防護施設にて電源供給を実施
派遣者7名の内、4名帰還
- R6.01.11 輪島市港公民館、浦上公民館、劔地原子力防護施設にて電源供給を実施
派遣者3名
- R6.01.12 輪島市浦上公民館にて電源供給を実施
派遣者3名
- R6.01.13 関東地整と引き継ぎ実施
派遣者3名の内、3名帰還済

【建築班】:1班(営繕部2名、建政部1名)

- R6.01.09 金沢市に移動
- R6.01.10 珠洲市内で危険度判定 7箇所実施
- R6.01.11 班員の負傷のため、調査を中止 3名帰還
- R6.01.12 第2陣(営繕部1名、建政部1名)が金沢市に移動
- R6.01.13 珠洲市内で危険度判定 9箇所実施
- R6.01.14 能登町内で危険度判定 27箇所実施

③ 災害対策車両派遣状況(建設機械班)

給水車①(浜松河川国道事務所):1台

- R6.01.03 出発、金沢河川国道事務所にて待機
- R6.01.04 かほく市役所にて給水支援
- R6.01.05 能登町へ給水支援のため移動
- R6.01.06 能登町役場にて給水支援
- R6.01.07 翌日の給水支援準備、能登町に向けて24時出発予定
- R6.01.08 能登町内にて給水支援、第2陣と引き継ぎ
- R6.01.09 金沢城北水質管理センターにて補給
- R6.01.10 能登町内で給水支援実施
- R6.01.11 金沢市内にて待機
- R6.01.12~13 能登町内で給水支援実施
- R6.01.14 能登町内で給水支援実施、第3陣と引き継ぎ

給水車②(名古屋国道事務所):1台

- R6.01.03 出発、金沢河川国道事務所にて待機
- R6.01.04~05 富山県氷見市内の氷見ふれあいスポーツセンターにて給水支援
- R6.01.06~07 富山県氷見市 道の駅ひみ番屋街周辺にて給水支援
- R6.01.08 富山県氷見市内の比美乃江公園にて給水支援、第2陣と引き継ぎ
- R6.01.09~13 富山県氷見市内の比美乃江公園にて給水支援実施
- R6.01.14 富山県氷見市内の比美乃江公園にて給水支援実施、第3陣と引き継ぎ

照明車①~⑤(中部技術事務所):5台

- R6.01.04 出発、金沢河川国道事務所に到着、珠洲市へ1台派遣
- R6.01.05 珠洲市で道路啓開補助のため、照明支援(1台)
- R6.01.05 能登町で道路啓開補助のため、照明支援(2台)
- R6.01.06 珠洲市(1台)、能登町(2台)で道路警戒補助のため、照明支援
- R6.01.07 珠洲市(1台)、輪島市(1台)で道路警戒補助のため、照明支援
- R6.01.08 輪島市(1台)で道路警戒補助のため、照明支援
- R6.01.09 輪島市、珠洲市、能登町にて各1台が稼働(2台は待機)
- R6.01.10~11 輪島市、珠洲市にて各1台稼働中(能登町の1台は待機)
- R6.01.12 輪島市、珠洲市にて稼働
- R6.01.13 輪島市(2台)、珠洲市(1台)にて稼働
2台は富山防災センター待機中
- R6.01.14 輪島市(2台)、珠洲市(1台)にて稼働
2台は富山防災センター待機中

無人化施工バックホウ①(中部技術事務所):1台

- R6.01.04 北陸技術事務所に向け出発
- R6.01.04 北陸技術事務所に着、待機
- R6.01.05 北陸技術事務所到着
- R6.01.05 積み降ろし、引き渡し完了 中部技術事務所へ帰還

Car-SAT①(本局):1台

- R6.01.05 金沢河川国道事務所に向け出発
- R6.01.05 羽咋市→氷見市→金沢市の国道ルートの映像配信実施
- R6.01.06 穴水町役場→能登町周辺→金沢市の国道ルートの映像配信実施
- R6.01.07 国道249号土砂崩落現場にて映像配信実施
- R6.01.08 今後の調査箇所について打ち合わせ
- R6.01.09 県道6号の工事配信後、輪島市内の映像配信実施
- R6.01.10 県道38号の工事配信実施
- R6.01.11 作業終了のため、帰還

モバイルトラフィックカウンター①(高山):1台

- R6.01.05 七尾市へ向け出発
大津交差点、なかしまロマン峠に計器設置完了
- R6.01.06 現地確認完了 高山国道事務所へ帰還

④応急復旧資機材、緊急物資の支援状況(総対班)

- ・1/2 TEC先遣隊並びにブルーシート及び土嚢袋の支援要請あり
ブルーシート支援 庄内川:280枚、木曾上:120枚、豊橋:530枚、三重:300枚
土嚢袋支援 庄内川:9400枚、木曾上:350枚、豊橋:1000枚
- ・1/3 ブルーシート支援 天上:19枚
日建連支援(出発式実施)
支援内訳 ブルーシート:3795枚、防災シート:92枚、土のう袋:4040枚、保存水(2L×6本):40箱、災害救助用毛布:35枚、バスタオル:48枚、携帯トイレ:500個、カイロ:300個、懐中電灯:33個、軍手:36枚、乾電池:416個
港湾空港部支援
支援内訳 ブルーシート20枚、簡易トイレキット800回分、アルファ米等の非常食
飲料水支援
支援内訳 本局:(2L×6本)376箱、三重:(2L×6本)290箱
- ・1/4 給水タンク1,177個を輸送(庄内川の内閣府輸送に便乗)
飲料水支援
支援内訳 木曾上、多治見、高山、岐国、庄内、名国、愛国、名四、木曾下、北勢の飲料水34,416本/500mlを金沢河川国道事務所に輸送(内閣府輸送飲料水)
- ・1/5 日本埋立浚渫協会中部支部により支援物資(ブルーシート 284枚、土のう袋 2,800枚、携帯用トイレ 90個、ガソリン携行缶 21個、発電機 2台等)を伏木富山港湾事務所へ輸送
カラーコーン重り支援(名四国道事務所より各事務所へ集荷後輸送)
支援内訳 名四:15個、中部地整:10個、庄内川:75個